



けやきっ子

東根市立東根小学校
学校だより

No. 1 web 版

令和 2 年 4 月 16 日発行

我慢の先にある幸せを信じて

校長 長瀬 広幸

校庭の桜が満開になりました。本来ならば、美しい桜を背景にしてクラス写真を撮るはずなのですが、新型コロナウイルス感染症対策のため、臨時休業がさらに延長されることとなってしまう、桜と共に記念写真を撮ることができなくなりました。花を愛でる心のゆとりもないままに、散っていくのかと思うと切なくなってしまうます。

そのような中でも、予定していた入学式を無事挙行できたことにより、新たなスタートを切り、学校生活の節目をつけることができたことを幸いに思います。1年生と保護者の皆様、そして、教職員という小規模で、歌もなく、来賓祝辞もなく、2年生の歓迎のパフォーマンスもない短い式でしたが、子供たちの小学校生活への希望に満ちた瞳がきらきらと輝いた素敵な時間でした。校長式辞の間も、目と耳と心で聴こうとする構えが子供たちに見られことに驚きを感じました。これまでの幼稚園や保育所での指導、そして、保護者の皆様の教える成果なのだと思います。この聴く姿勢をこれからの小学校生活の中でもしっかりと伸ばしていきます。

さて、臨時休業が5月10日まで延長されるにあたり、週一回程度、二時間以内という制限のもと、中間登校日を設定し、子供たちの生活指導と学習保障を行うという方針が山形県教育委員会より示され、本市においても実施することとなりました。このことについては、既に本校のホームページに掲載されておりますのでご覧になったかと思います。分散登校によって、出席人数を1クラス10人程度に抑え、座席の間隔を大きく取り、換気や授業方法(対話や交流を行わない学習をする等)にも配慮しながら、2時間という短い時間で、家庭学習の仕方と共に、可能な限り授業を進める方針です。万全な体調で出席できるようご家庭でもお声がけをお願いします。

いまだかつて経験したことのない長い休業となり、子供たちもストレスを抱えていると思います。不要不急の外出を控え、人との接触を控え、マスクを付けて、神経質なほどに手洗いとアルコール消毒を繰り返す等、生活の様相も一変しました。でもこんな時だからこそ、家族の会話と触れ合いが深まり、絆をより強くする機会であってほしいと強く願います。また、今までに与えられたことのないゆとりある時間の中で、自分で課題を見つけて解決したり、自分の計画で生活をつくり上げたりする経験を積み重ねてほしいと思います。この休みを利用して福祉施設のために手作りマスクを作り寄付した子どももいるというニュースを聞きました。東日本大震災を乗り越えた日本人の力を信じ、この我慢の先にある平穏な日常を信じ、前を向いて生きる大切さを子供たちに伝えたいです。

